

www.samukawajinja.jp

相模

第506号
平成28年10月1日

特集

流鏝馬神事復興50年
記念行事開催

SAGAMI



13 12 11 10 8 7 6 5 4 2

寒川病院だより

寒川俳壇・相模詠草・人事

青少年だより

年年祭歳 新嘗祭

— 記念行事開催 —

流鏝馬神事復興50年

伝統行事を守り抜く

特集 社頭動静特別編

例祭献灯者芳名・NY見聞録

例祭神徳奉賛金奉賛者芳名

— 各種神賑行事開催され境内賑わう —

例祭齋行

世界一お洒落な男たち「サプール」参拝

社頭動静 祭典・行事のご報告

茶屋 和楽亭



季節のお菓子とお抹茶でおもてなし
午前9時30分～午後3時30分まで
(午後3時受付終了)
拝服料500円より思し召し

茶室 直心庵



毎月1日に限り特別に開庵します
どうぞご利用ください
◇午前10時30分/1席(約30分間)
◇午後1時30分/1席(約30分間)
各1席8名まで先着順
初めての方もお気軽に茶の湯に親しんでください

以降の予定は決定次第ホームページにてお知らせします

10月2日(日) 午前11時～午後2時
10日(月) 午後2時のみ
16日(日) 午後2時のみ

神楽舞と雅楽

(雨天中止)



紅葉の季節を迎えました
森厳な神嶽山神苑にて
紅葉を楽しみつつ
和やかなひと時を…

神嶽山神苑 御案内

● 本年は12月13日にて閉苑となります。

● 神嶽山神苑への入苑は御祈禱を受けた方に限ります。

第49回 菊花・写真展

本年度49回を迎える菊花・写真展が11月10日～23日に開催されます。
近隣の菊花会より出品される豪華絢爛な菊花約350点、寒川神社の
四季折々の様子を写した写真約150点が境内に展示されます。



▲平成27年宮司賞受賞作品

(写真展作品募集)

- 開催時期 平成28年11月10日～23日
- 題材 寒川神社に関係のある未発表の作品
- サイズ 四ツ切・六ツ切・A4・B4・A5・B5サイズ(ワイド可)
- 出品点数 1人5点以内
- 応募期間 平成28年10月1日～31日
- 入賞発表 平成28年11月上旬(入賞者へ直接連絡)

※作品の裏に住所・氏名・電話番号・題目・撮影年月日を明記のこと

問い合わせ 寒川神社 写真展係 ☎0467(75)0004

人形感謝祭 10月15日 11:00

人形奉斎殿では、お納め頂いた人形を日々お祓いするとともに毎月1日には清祓式を齋行しておりますが、10月15日の「人形の日」に合わせ、第5回人形感謝祭を午前11時より齋行致します。

人形は年間を通じお納め頂けますが、是非この機会にご参列くださいますようご案内申し上げます。



祭典と行事のご案内

11月	10月
23日 午前10時	17日 午前11時
3日 午前8時30分	15日 午前11時
新嘗祭	神嘗奉祝祭
明治祭	人形感謝祭

毎月	12月
1日・20日 午前8時30分	14日 午前8時30分
除夜祭後	23日 午前10時
神徳感謝祭	31日 午後1時
月次祭	師走大祓式
	並大祓祈願祭並除夜祭
	天長祭
	煤拂祭

寒川さんの鈴の音

※鈴の音を「祈り」の象徴ととらえ、当社社の折々の出来事をその音に乗せて皆様にお伝えするという意味を込めました。

浜降祭

湘

南地方に本格的な夏の到来を告げる浜降祭が茅ヶ崎・南湖の浜で斎行されました。

湘南の夏らしい好天の中、寒川神社を始め寒川町・茅ヶ崎市に鎮座する34社、39基の豪華絢爛な神輿が朝日を浴びつつ集結し、およそ10万人の観衆に見守られながら、浜辺を乱舞しました。海での禊を終えた各社の神輿は御神威も新たに各社へと還幸しました。

本年も、浜降祭の帰路、寒川4社の神輿が寒川駅前公園に集結し、さむかわ神輿まつりが開催され、東日本大震災と本年4月に発生した九州・熊本地震で被災された方々への祈りを込めた復興祈願祭が斎行されました。



相模薪能

先

の大戦において祖国を護るべく戦陣に散り、戦禍に倒れた英霊と戦争犠牲者の御霊をお慰めし、世界の恒久平和を祈る第47回相模薪能が開催されました。

御本殿にて奉告祭が斎行された後、観覧者全員で黙祷を捧げました。今回の演目は、能「俊成忠度」「杜若」、狂言「二人袴」。夏の夜空の下、篝火に照らされる御本殿前で演じられる日本の伝統芸能は見る者全てを悠久の世界へと誘いました。

嶽東会総会

当

神社の旧職員により組織される「寒川神社嶽東会」の総会が8月23日に開催されました。今回は、昨年1月に逝去された矢田部正巳前会長（元神社本庁総長・前



指定神社実習

神

職を目指し日々勉学に励む國學院大學（東京都）・皇學館大学（三重県）の学生の神社実習を受け入れました。

神職になる為には、様々な実習を受ける必要があります。机上の学習だけでは得がたい実務面での経験を積むことが目的の一つです。学生たちは期間中、宮司講話・禊行事・祭典奉仕助勢などの体験を通じて神職のあるべき姿を窺い知ることができました。



嶽東会 吉田新会長

祭式研修会

県

神社庁相模湘南支部主催による年に一度の祭式研修会が参集殿にて國學院大學特別選任准教授・県神社庁祭式講師である小野和伸先生をお招きし開催されました。

神社で斎行される祭式において、それぞれの行事に必要な作法のことを「神社祭式」といい、歩き方や礼の角度など時と場合によって詳細な規程があります。そういった基本動作を年に一度再確認し、日々の神明奉仕に活かすべく、約半世紀に亘り、開催されています。神職の本分ともいわれる「祭祀の厳修」を胸に刻み込む有意義な研修となりました。

商工奉賛会総会

当

神社を崇敬する商工業者・個人で組織される「寒川神社商工奉賛会」の第43回年次総会が9月19日に開催され、本年度の事業計画・予算が承認されました。すつかり恒例となった総会後の春風亭柳之助師匠の記念高座では「禁酒番屋」が披露され会場は明るい笑顔で溢れました。

祭典・行事のご報告

- 7月
 - 15日 浜降古式祭
 - 17日 浜降祭宵宮祭並遷霊祭
 - 18日 浜降祭
 - 19日 虫送り祭
- 8月13～19日 國學院大學・皇學館大学 指定神社実習受入れ
- 15日 平和祈願祭
- 18日 第47回相模薪能
- 23日 神社庁相模湘南支部総会
- 嶽東会総会

- 9月
 - 1日 寒川神社全総代会
 - 5日 県神社庁相模湘南支部祭式研修会
 - 9日 同 右
 - 10～25日 流鏑馬神事復興50年記念展示
 - 11日 やぶさめ教室
 - 19日 商工祈願祭並献灯奉告祭
 - 商工奉賛会年次総会
 - 例祭宵宮祭
 - 並流鏑馬神事復興50年奉告祭
 - 流鏑馬神事
 - 20日 例祭
 - 安藤由勝大人命
 - 伊集院直彦大人命他命等慰霊祭
 - 末社御祖神社
 - 秋季霊祭（例祭）並合祀祭
 - 29日 末社宮山神社例祭
 - 30日 高座氏子総代会総会

毎月1日・20日 月次祭（9月20日は除く）



【写真】①浜降祭 ②能「杜若」 ③祭式研修会 ④落語「禁酒番屋」

例祭

御神徳への感謝と
更なる繁栄を祈念



当社社年間祭典の中で最も重儀である例祭が、9月19日・20日の2日間に亘って寒川大明神の御神恩への感謝と更なる繁栄を祈念し、盛大且つ厳肅裡に斎行されました。

19日は、午前10時より寒川大明神を崇敬する全国の商工業者で組織されている商工奉賛会々員の、日々における営業への感謝と益々の繁栄を祈る商工祈願祭と、神池橋前に例祭を奉祝して提灯を献灯された方々の献灯奉告祭が併せて行われました。また、復興50年を迎えた流鏝馬神事が滞りなく奉納されました。

翌20日の午前10時には例祭が斎行され、本社本庁よりの幣帛を奉り、御多忙中にも拘りませずお越し頂きました神社本庁総長 田中恆清様をはじめ責任役員・氏子総代・全国各地の崇敬者多数が参列され、大前に玉串を捧げ拝礼されました。また、御神前では巫女による神前神楽「浦安の舞」が流麗かつ厳かに奉奏されました。

台風接近に伴う雨の中ではありませんでしたが、両日に亘り献茶・献花・献句・盆栽展・水石と美石展・奉納演芸・神輿渡御などの多くの神賑行事が行われ、大勢の参拝者で賑わい例祭をお祝い致しました。

SAPEUR
サブール



世界一 お洒落な男たち



7月18日、世界一お洒落な男たちといわれる「SAPEUR(サブール)」の面々が参拝されました。

サブールとは、アフリカのコンゴ共和国(首都：ブラザヴィル)を拠点とする「エレガントであることに全てを捧げる」"SAPE(サップ)"と呼ばれるファッション美学を持った集団のことで、今回はとあるブランドのイベント出演と、専属カメラマン 茶野邦雄氏のサブール撮影のために6名が来日。日本各地を旅するにあたり、当神社にて、「日本を旅するサブール」のイベントと撮影旅行の成功祈願をしました。

偶然にも参拝当日は浜降祭。海での禊を終えた神輿が境内を乱舞する中、突如カラフルなサブールたちが登場し、和と洋の文化が混ざり合ったような不思議な雰囲気になりました。

御祈禱中の神妙な面持ちからは、単に奇抜なファッションを楽しむだけではなく、異国の神とも真摯に向きあう信仰心篤き姿を感じ取ることができました。

日本と比べると決して裕福とはいえず、度重なる紛争の中で、月給の何倍もする洋服を買い「心は豊かに、毎日に感謝し、精一杯楽しむ」「武器を捨ててファッションを楽しみエレガントに生きる」という信条を貫く彼らは、正に「平和」を身に纏っているのかもしれない。

釈由美子氏ご参拝

7月15日、女優の釈由美子氏
がご参拝されました。

折々にご参拝頂いておりますが、今回はご長男様の初宮詣にお越し頂きました。

寒川大明神の御加護を戴かれまして、お客様の健やかなご成長をお祈り致します。



平成28年 例祭神徳奉賛金奉賛者芳名

旭(東)	古谷 丘志 殿	外18名	一九、〇〇〇円
旭(西)	村上 大佑 殿	外11名	一二、〇〇〇円
上合	西山 成二 殿	外22名	二三、〇〇〇円
中里(上)	原 京子 殿	外34名	八四、〇〇〇円
中里(下)	加藤 正明 殿	外38名	六三、〇〇〇円
中里(河原)	山田 昌代 殿	外20名	二六、〇〇〇円
中里(サザン)	谷亀 光 殿	外4名	一一、〇〇〇円
馬場	鈴木 裕太 殿	外26名	二七、〇〇〇円
雷	酒井 充 殿	外17名	一八、〇〇〇円
下	井出 一浩 殿	外62名	七九、〇〇〇円
根岸(上)	戸田 充 殿	外40名	四八、〇〇〇円
根岸(中)	小林 晃 殿	外11名	一七、〇〇〇円
根岸(下)	井手 睦明 殿	外39名	五一、〇〇〇円
オリブの丘	宮澤 孝 殿	外1名	一五、〇〇〇円
南	杉本 孝幸 殿	外11名	二五、〇〇〇円

東1	永野 喜好 殿	外7名	八、〇〇〇円
東3・5B	木村 正一 殿	外15名	一六、〇〇〇円
東4	松村 忠司 殿	外5名	六、〇〇〇円
小町屋1・3	高橋 博 殿	外17名	一九、〇〇〇円
鳥井戸4・5	金子 巖 殿	外17名	五、〇〇〇円
目久尻	福田 圭治 殿	外17名	三、〇〇〇円

東1	水野 正一 殿	外15名	一六、〇〇〇円
東3・5B	木村 忠司 殿	外5名	六、〇〇〇円
東4	松村 忠司 殿	外5名	六、〇〇〇円
小町屋1・3	高橋 博 殿	外17名	一九、〇〇〇円
鳥井戸4・5	金子 巖 殿	外17名	五、〇〇〇円
目久尻	福田 圭治 殿	外17名	三、〇〇〇円

大村(東1)	佐藤 真也 殿	外10名	一一、〇〇〇円
大村(西1)	佐藤 重夫 殿	外8名	一六、〇〇〇円
大村(西2)	藤田 勝幸 殿	外8名	一八、〇〇〇円
才戸(南)	高橋 忠信 殿	外20名	二一、〇〇〇円
才戸(東)	本間 豊 殿	外8名	二六、〇〇〇円
原(南)	今井みどり 殿	外12名	二五、〇〇〇円
原(北)	古谷 梨奈 殿	外7名	一〇、〇〇〇円
十二天(南)	藤澤 輝夫 殿	外11名	一一、〇〇〇円
十二天(北)	北村いずみ 殿	外11名	一一、〇〇〇円
十二天(第二)	金子 文夫 殿	外9名	一一、〇〇〇円
新町・入町	斉藤 清美 殿	外14名	一五、〇〇〇円
南町	山口 行介 殿	外13名	二二、〇〇〇円
西町	大浦 秋雄 殿	外16名	一七、〇〇〇円
川端(西)	永野みどり 殿	外14名	一五、〇〇〇円
桜町(中)	渡辺 剛 殿	外12名	一四、〇〇〇円
桜町(下)	上田 賢二 殿	外2名	三、〇〇〇円

大村(東1)	佐藤 真也 殿	外10名	一一、〇〇〇円
大村(西1)	佐藤 重夫 殿	外8名	一六、〇〇〇円
大村(西2)	藤田 勝幸 殿	外8名	一八、〇〇〇円
才戸(南)	高橋 忠信 殿	外20名	二一、〇〇〇円
才戸(東)	本間 豊 殿	外8名	二六、〇〇〇円
原(南)	今井みどり 殿	外12名	二五、〇〇〇円
原(北)	古谷 梨奈 殿	外7名	一〇、〇〇〇円
十二天(南)	藤澤 輝夫 殿	外11名	一一、〇〇〇円
十二天(北)	北村いずみ 殿	外11名	一一、〇〇〇円
十二天(第二)	金子 文夫 殿	外9名	一一、〇〇〇円
新町・入町	斉藤 清美 殿	外14名	一五、〇〇〇円
南町	山口 行介 殿	外13名	二二、〇〇〇円
西町	大浦 秋雄 殿	外16名	一七、〇〇〇円
川端(西)	永野みどり 殿	外14名	一五、〇〇〇円
桜町(中)	渡辺 剛 殿	外12名	一四、〇〇〇円
桜町(下)	上田 賢二 殿	外2名	三、〇〇〇円

平成28年 例祭献灯者芳名

入澤 一三	とんかつ水龍	外1名	二、〇〇〇円
中島 啓介	中沢運輸(株)	外7名	八、〇〇〇円
前田 隆一	(株)中島鐵工所	外1名	二、〇〇〇円
松本 學	日本精麦(株)	外1名	二、〇〇〇円
高橋竹材店	(株)フルモト	外1名	二、〇〇〇円
金子 昭	(株)古山看板塗装	外1名	二、〇〇〇円
横溝 隆義	(株)ほりむら薬品	外1名	二、〇〇〇円
市川 元久	豊月堂	外1名	二、〇〇〇円
下里自動車(株)	村松商事(株)	外1名	二、〇〇〇円
(株)藤又	森村ケミカル(株)	外1名	二、〇〇〇円
(株)カナリヤ	(株)山上工務店	外1名	二、〇〇〇円
(株)寒川建材	ヨシカワ洋品店	外1名	二、〇〇〇円
東木材(株)	レンゴー(株)湘南工場	外1名	二、〇〇〇円
青山大寿司	(株)アークル	外1名	二、〇〇〇円
(株)青葉	(株)秋江	外1名	二、〇〇〇円
(株)アサヒファーマシー	秋山商事(株)厚木支店	外1名	二、〇〇〇円
アズビル(株)湘南工場	安藤物産(株)	外1名	二、〇〇〇円
(株)フスイ植物園	(株)インダ	外1名	二、〇〇〇円
(株)内野不動産	(株)市川	外1名	二、〇〇〇円
(株)梅屋幸	一政水産(株)	外1名	二、〇〇〇円
(株)オカワ	(株)植藤造園	外1名	二、〇〇〇円
河西工業(株)	(株)大島寅次郎商店	外1名	二、〇〇〇円
(株)金子建材土木	(株)大角塗装工業	外1名	二、〇〇〇円
千寿会 さくの郷	大村紙業(株)	外1名	二、〇〇〇円
(株)喜久屋酒店	(株)神奈川中宣	外1名	二、〇〇〇円
(株)金庫屋商店	川本工業(株)県央支店	外1名	二、〇〇〇円
(株)ランドライナーマルンゲ	(株)香川第一交通	外1名	二、〇〇〇円
(株)コーメー	熊澤酒造(株)	外1名	二、〇〇〇円
寿重機(株)	ココ・コーライーストジャパン(株)	外1名	二、〇〇〇円
(株)サダコ美容室	酒井 米男	外1名	二、〇〇〇円
(株)サンエーサンクス	(株)サンユー	外1名	二、〇〇〇円
(株)さがみや菓舗	(株)破産ビューティブライダル	外1名	二、〇〇〇円
寒川病院	(株)湘南ビュティブライダル	外1名	二、〇〇〇円
寒川町商工会	(株)湘南山鉄	外1名	二、〇〇〇円
(一社)寒川町観光協会	(株)ジェイコム湘南	外1名	二、〇〇〇円
(株)湘南ライン	(株)シノハラ	外1名	二、〇〇〇円
湘南信用金庫 寒川支店	鈴木徽章工業(株)	外1名	二、〇〇〇円
昭和興産(株)	鈴木木製工所	外1名	二、〇〇〇円
神恵苑	総合警備保障(株)湘南支社	外1名	二、〇〇〇円
生長園	(株)ダイワ・エム・ティ	外1名	二、〇〇〇円
大黒屋製菓	(株)竹澤古典建築設計事務所	外1名	二、〇〇〇円
(株)田中写真	(株)露木生花	外1名	二、〇〇〇円
瀧川園茶舗	(株)戸塚米店	外1名	二、〇〇〇円
露木生花	(株)竹中工務店 横浜支店	外1名	二、〇〇〇円

(株)永沢興業	中野設計工務(株)	外1名	二、〇〇〇円
長嶋園	(株)ノブ・リライアブル	外1名	二、〇〇〇円
(株)ノブ・リライアブル	(株)長谷川製作所	外1名	二、〇〇〇円
日立オートモティブシステムズ(株)	(株)ヒラボウ	外1名	二、〇〇〇円
人の森(株)	(株)平成工業	外1名	二、〇〇〇円
(株)ヒラボウ	旭ファイバークラス(株)湘南工場	外1名	二、〇〇〇円
(株)白青果店	(株)アサヒアシリテイズ横浜支店	外1名	二、〇〇〇円
(株)青木商事	(株)阿部	外1名	二、〇〇〇円
旭ファイバークラス(株)湘南工場	(株)壁島工務店	外1名	二、〇〇〇円
(株)アサヒアシリテイズ横浜支店	(株)レスポアル	外1名	二、〇〇〇円
(株)阿部	北村工務店	外1名	二、〇〇〇円
(株)壁島工務店	(株)兎和デイスブレイ	外1名	二、〇〇〇円
(株)レスポアル	(株)工房えむま	外1名	二、〇〇〇円
北村工務店	(株)寒川公衆衛生社	外1名	二、〇〇〇円
(株)兎和デイスブレイ	さが野農機	外1名	二、〇〇〇円
(株)工房えむま	スリーエフ寒川宮山店	外1名	二、〇〇〇円
(株)寒川公衆衛生社	(株)破産矢奉製所	外1名	二、〇〇〇円
さが野農機	(株)高田	外1名	二、〇〇〇円
スリーエフ寒川宮山店	(株)丸井建設	外1名	二、〇〇〇円
(株)破産矢奉製所	(株)丸井紙店	外1名	二、〇〇〇円
(株)高田	(株)三井住友銀行藤沢法人営業部	外1名	二、〇〇〇円
(株)丸井建設	(株)結商會	外1名	二、〇〇〇円
(株)丸井紙店	(株)三井住友銀行藤沢法人営業部	外1名	二、〇〇〇円
(株)三井住友銀行藤沢法人営業部	寒川ローゼンテニスクラブ	外1名	二、〇〇〇円
寒川ローゼンテニスクラブ	眞原電工	外1名	二、〇〇〇円
眞原電工	寒川ロータリークラブ	外1名	二、〇〇〇円
寒川ロータリークラブ	(株)THコーポレーション	外1名	二、〇〇〇円
(株)THコーポレーション	(順不同・敬称略)	外1名	二、〇〇〇円

NEW YORK 見聞録

寒川神社 権柄宜 中西正史

第2回 ニューヨークの民族模様 — メルトポットとサラダボウル —

ニューヨークは人口840万人を抱える全米最大、世界有数の大都市です。アメリカの歴史を紐解くと、この街は昔から移民が到着するゲートシティであり現在でも人口の37%約300万人が外国生まれの移民との統計があります。市内人口の多くが国外で生まれ、その二世・三世も多数おり、街を歩いても様々な背景を持つ人々が入り混じって暮らしている様はまさに「人種の坩堝」と呼ぶにふさわしい街です。

私が大学生の頃はいわゆるグローバリゼーション論が盛んで、国家という概念はやがてなくなると囁かれていた

した。その中でもニューヨークは人種が交じり合った象徴例であり、色々な人種がごった煮になり溶け合っていく「メルトポット」を体現した街であると習った記憶があります。

しかし、実際現地に足を運んでみると、母国の習慣や宗教を何世代にも亘って大切にしつつ、特定の地域で自らのコミュニティーを守り続けている人達が点在しています。様々な文化や人種・宗教が溶け合っている一つのアメリカになるという思想により構成される社会を「サラダボウル」と呼びますが、徐々にアメリカ社会も多様な文化・宗教の個性を認めるようになってきています。

私は職業柄、日系の宗教施設を見学する機会が多かったのですが、教会を模した礼拝施設を建てるなど、異文化的要素を薄める配慮がなされていた頃と比べると、ありのままの宗教が受け入れられる下地ができつつあると感じました。ニューヨークでの活動中、等身大の神道を受け入れてもらえる手応えを実感できたのは幸せなことでした。



▲現地化の例 — 天理教米国伝道庁

《次回》
ニューヨークにおける在留邦人と日系宗教との関係を紹介いたします

記念行事開催

やぶさめ教室



▲ニンジンもあげました

9月11日、主に子供たちを対象とした「やぶさめ教室」を開催し、あいにくの雨にもかかわらず約1000名の方々にご参加頂きました。

当日は、当神社が所有する流鏑馬奉仕馬、「平安」号と「飛鳥」号の2頭が神事用の装飾をして登場し、装束を着けた射手が「流鏑馬」には五穀豊穡を祈る意味がある」という説明をしました。

その後、参加した子供たちは、実際の神事に使われる弓でめがけて矢を放ったり、馬の背に載せる「和鞍」に跨ったりするなど、射手の指導を受けながら、普段経験できない貴重な体験を通して、日本の伝統文化に直接触れ合ってもらうことができました。

実際に馬を間近で見た子供たちは笑顔に溢れていましたが、弓の体験では一転して大人顔負けの真剣な表情に。次世代を担う子供たちの真摯な姿勢は、とても心強く感じられました。

記念展示「馬と信仰」

9月10日より25日にかけて記念展示「馬と信仰」を開催しました。

馬と神、馬と人とのつながりを紐解きながら、当神社の「古式」流鏑馬から現儀の流鏑馬に至るまでの各種資料を展示しました。

今回は、神宮式年遷宮の御装束神宝と当神社所蔵の刀剣を同時公開し、期間中約2500名の皆様にご見学頂きました。

この度の記念展示にあたり、貴重な資料の展示にご協力頂きました関係各位に衷心より御礼申し上げます。



期間中寄せられた声

- 過去に流鏑馬神事を観覧したことはあったが、その意義まではなかなか理解できていなかった。今回の展示でそれを知ることができ、今後は流鏑馬を見る視点が変わると思う
- 子供と一緒に見学したが、中学生の娘は学校の歴史の授業と重なることもあったようで、子供も楽しめる展示であった

少年館生参道飾り灯籠

当神社少年館生が描いた流鏑馬に関する絵を参道灯籠に掲示し、夜間ライトアップを実施しました。



文治3年(一一八七)8月15日、源頼朝が鶴岡若宮(現鶴岡八幡宮)にて放生会を開催、その際、流鏑馬神事を奉納しました。流鏑馬神事の起源は欽明天皇の御代(6世紀頃)まで遡るとされ、約一五〇〇年の歴史がありますが、時代ごとに復興と衰退を繰り返してきており、頼朝による鶴岡八幡宮での奉納が鎌倉期における流鏑馬神事の復活であったとされています。

一方、当神社の流鏑馬神事は、少なくとも鎌倉時代から行われていた記録がありますが、鶴岡八幡宮のそれとは様子の異なる、独自の形式で行われていました(「古式」流鏑馬)。当神社には古くから「社人」といわれる制度が存在し、それぞれの神事を分担して奉仕してきており、そのうち、流鏑馬を司る家筋の者を「馬太夫」と称していました。

代々、その馬太夫が「古式」流鏑馬を継承してきましたが、時代の流れとともに徐々にその継承が困難となつていきました。戦後もしばらくは従来の形式が保たれていたものの、地域の急速な発展に伴い、生活様式の変化や農業の機械化などが進み、神事に用いる馬の調達や「古式」流

鏑馬の技量の維持も困難となり、社人による復興はどうしても望めない状況に陥つてしまったのです。

古来より伝わる神事を途絶えさせることは、先人たちのためにも努力に対して申し訳ないことであり、伝統文化の継承に携わる神社としては避けなければならぬ事態でした。そんな折、鎌倉に金子有鄰という流鏑馬の大家がいらつしやるとのことです、当時の瀧本宮司が有鄰氏を訪ね、寒川神社の現状を説明し、流鏑馬の復興を依頼したところ「相模國一之宮という由緒深い寒川神社で奉仕できることは、自分にとつても武田流としても大変名誉なことである。武田流の続く限り奉納させてもらいたい」と快諾頂きました。時に昭和40年のことでした。

こうして、武田流第34代司家・金子有鄰氏率いる武田流により復興第一回目の流鏑馬神事が昭和41年9月19日に奉納されました。「古式」流鏑馬しか知らなかった地元の人々にとつて、豪華絢爛・勇壮華麗な絵巻物は大変な驚きをもたらしたに違いないでしょう。その後も、毎年9月19日に奉納され続け、今年ちょうど50年の大きな節目を迎えることができました。

復興50年の節目を迎えた本年の流鏑馬神事は不安定な天候にもかかわらず、例年以上の観覧者をお迎えし、滞りなく奉納されました。

当神社の流鏑馬神事は神職が実際に奉仕するのが特徴であり、本年は、3名の神職が射手として奉仕しました。

疾走する馬上で繰り広げられる日本の伝統武芸は見る者全てを魅了しました。

また、最も多くの射抜いた最多的中者に当神社の神職が輝き、復興50年の佳節に花を添えました。



青少年だより

夏の思い出

今回の青少年だよりは、スカウト・少年館生たちが過ごした夏を振り返ります。

BS寒川第2団は8月6日～9日にかけて、三重県営総合競技場で開催された第12回神社スカウト全国大会に参加しました。

事前の訓練キャンプを行うなど、準備も拔かりなく。全国大会は、北は北海道から南は鹿児島までの神社スカウトと、海外からの招聘団体として台湾・マレーシアからのスカウトも加わり、総勢1500名以上の参加者が「神様に笑顔であいさつ和の心」を合言葉に、日頃鍛えた知識と技能で各プログラムに挑みました。



期間中スカウトたちは開会式・伊勢神宮への参拝行進・大集会といった全部門合同での活動の他、各部門に別れた独自のプログラムを展開しました。

カブ隊は二見ヶ浦近くに舎営。白い砂浜での海水浴や鳥羽水族館の見学などを楽しみました。

ボーイ隊とベンチャー隊は、競技場内にテントを張っての野営に臨み、自炊生活を送りつつ自作の禪・鉢巻を着けて五十鈴川での禊行事体験のほか、史跡探訪ハイク・川遊びなどを行い、限られた時間の中でしたが、自主率先の動きを参加者それぞれが示し有意義な大会となりました。

寒川神社少年館の館生たちは、7月23日・24日の日程でお泊り会を開催。多摩動物公園見学の他、



お隣の興全寺にて座禅体験を行い、寒川青年会議所主催の流しそうめんにも参加しました。

また、8月9日・10日、伊勢での大会を終えたBSと合流し、合同の錬成会を行いました。

岐阜県各務原市の航空宇宙科学博物館を見学し、各務原少年自然の家にてキャンプファイヤー。翌日は飯田市の天竜川へ移動しBSはラフティング、少年館はブルーベリー狩りと舟下りをそれぞれ楽しみ、今年の夏の思い出をたくさん作って帰りました。

真っ黒に日焼けした子供達はかっこよくて、少し遅くなって帰って来た様に思えます。



動 静

- 7月**
 - 3日 育成総会 (CS-BS-VS-RS)
 - 育成総会 (少年館)
 - 18日 神輿パレード国旗持ち奉仕 (VS-RS)
 - 20日 終業式 (少年館)
 - 23～24日 お泊り会 (少年館)
 - 31日 水泳訓練 (CS)
- 8月**
 - 6～10日 第12回神社スカウト全国大会 (CS-BS-VS-RS)
 - 8～10日 夏季錬成会 (少年館)
- 9月**
 - 1日 始業式 (少年館)
 - 11日 BS江南地区発足40周年記念大会 (CS-BS-VS-RS)
 - 25日 観劇会 (少年館)

スカウト募集中!

小学2年生以上の男女
問合せ…寒川神社少年館



新嘗祭

豊年祭

三大祭

11月23日、勤労感謝の日に新嘗祭が斎行されます。

神社では一年を通して様々な祭典があり、その規模によって大祭・中祭・小祭に分けられています。それぞれの神社で多種多様な祭典が斎行されていますが、2月17日に斎行される「祈年祭」、11月23日に斎行される「新嘗祭」、そして当社社では9月20日に斎行され、神社において最も重儀とされる「例祭」の3つを合わせて「三大祭」といい、どの神社にあっても必ず大祭で斎行されます。

日本人と稲作

では、なぜ祈年祭と新嘗祭が大祭になっているのでしょうか。この疑問を解決するには、われわれ日本人と「稲作」との間の深い関係性を知る必要があります。

「記紀(古事記と日本書紀)」によると、伊勢の神宮の御祭神であり日本国民の総氏神ともいわれる天照大御神は、日本を豊かで平和な国にするために、孫にあたる邇邇芸命に3つの大切な教えを説き、高天原



から地上へと降臨させました。これが有名な「天孫降臨」です。ここにいう3つの教えのことを「三大神勅」といい、その一つが「斎庭の稲穂の神勅」といわれる教えです。

この神勅は、「天上帝で育てている稲を地上でも育て、地上の国も天上帝と同様に、実り豊かな安定した国にしなさい」という教えであり、日本の稲作文化の根源ともいえるものです。

つまり、わが国の稲作は神様から頂いた大切なものであり、太陽の恵みと神様より祖先へと受け継がれた農業技術によって日本民族の生活の基本が支えられていることが明示されているのです。

神との約束

天皇陛下が、皇居にある神田にて田植えや稲刈りを御自ら行っているのは、「稲作」を行い日本を豊かな国にするという天照大御神からの御教えを守り、それを広めるといふ使命を果たされ続けているからなのです。

「ここでもう一度2つの祭典を考えてみましょう。『祈年祭』は

総りへの感謝

春の初めに五穀豊穣を祈念する祭典であり、「新嘗祭」は秋に神々の恵みによる豊かな総りを、御神前に供えてそのお礼を申し上げる祭典です。どちらも「稲作」に関係するものなのです。

基本的に、神社で斎行される祭典の多くは農業、とりわけ稲作に関わる祭典であるといつても過言ではありません。それは、「米」こそが日本人の生活の基盤であるからに外なりません。五穀豊穣を祈る「祈年祭」と、豊作に感謝する「新嘗祭」が、科学技術が格段に進歩した現代においても、全国の神社で「大祭」で奉仕されるのは、神代から伝わる約束を守り続けているからなのです。

当社社の新嘗祭でも毎年、役員・総代・氏子崇敬者など大勢の方が参列され、五穀豊穣・産業の振興を感謝申し上げる祭典にふさわしく、新米をはじめ白酒や農産物が御神前に所狭しと奉獻され、神の恵みに感謝の誠を捧げ、皇室の御安泰、崇敬者各位の弥栄が祈念されます。

寒川俳壇

適量はくすりとばかり処暑の酒
 盆踊り小さな村の大きな輪
 音のして聞ばかりなり遠花火
 早田や鑄型のごとき足の跡
 地下足袋のままに足組み三尺寝
 置き去りの雑誌の頁処暑の風
 汲み置きの木桶に丸く水澄めり
 山の日や見えない山を見てゐたり
 何もかも昨日のまま残暑かな
 花火待つみんな呼吸を揃えお

芹澤 徳光
 倉谷 節子
 根岸 君子
 菅沼 保幸
 飛石 権花
 石原美枝子
 宮入 つる
 露木てる子
 金子 つち
 四ツ車梢月

朝刊の折目きつちり涼新た
 目かくしの少年剣士西瓜割り
 平和への祈り変らじ星流る
 咲き揃う朝顔路地の色となり
 流星や言いそびれたる事思ふ
 処暑迎え鳥揚羽の影おとす
 背の子も手足動かし盆踊
 流れ星名簿の友の一つ消ゆ
 流れ星外に出て見て見つけたの
 故郷への直航便や秋燕
 病窓の死角に聞くや遠花火
 金魚いま休んでいたり夜のはじめ

岩田美代子
 竹村真砂美
 猿渡 弥生
 松本美智子
 菅沼うめの
 原野 楽天
 吉岡 徜徉
 伊藤 公一
 鈴木フミ子
 松村 信篤
 天沼 子平
 皆川志んご

相模詠草

小雨降る露天風呂にしみじみとこの幸せはこの先幾年
 友言いしちよととおしやれらしき可愛ゆき小鳥が庭に来ており
 川の中十羽の子ガモ母さがし右往左往で釣り人苦笑
 朝に咲き昼には閉じる露草の名残の藍色侘びしみて見る
 爽やかな五月の風に運ばれて三人目の曾孫「優華」誕生
 細き茎浮き葉の中ゆ抜きん出て烏帽子形なし咲くを待つ蓮
 風邪癒えて「いざ若冲展」と思ししも三時間待ちと聞き待つ蓮
 雨上り畑の向日葵つぎ次と花枝の増えて華やかに咲く
 波の這うごとく序曲奏でられ舞台にひびく筑前琵琶の音
 梅雨空に朝霧の立ち棚曇る目覚めてしばらくぼんやりといる
 「餌あげ」や「水あげ」普通に使われし「餌やり」「水やり」古き言葉に
 盆近く思ひ出さるる母の事笑顔で話すやさし言葉も
 昨夜の雨に潤ふ畑土黒々と畝に野菜の双葉も光る

徳江 道子
 宇田川時子
 土屋トミ子
 山口 幸子
 山根喜美代
 亀山 文子
 安藤 慧
 川島恵美子
 平澤まさえ
 吉田 幸子
 宮治友美枝
 岡元 芳子
 杉本 照世

人事

- ◆昇進
 - 〈神社〉 前島 正
 - 神職身分二級上とする
平成二十八年九月十日
神社本庁
 - 権禰宜 長谷川 潤
 - 権禰宜 櫻井 貴基
 - 神職身分二級とする
平成二十八年九月一日
神社本庁
 - 主典 三浦 彩夏
寒川神社権禰宜に任ずる
平成二十八年九月一日
神社本庁
- ◆採用
 - 〈寒川病院〉
看護師 宮川 啓子
看護師 野田 知会
平成二十八年九月一日
寒川病院勤務を命ずる
平成二十八年九月一日
看護師 根岸 浩子
寒川病院勤務を命ずる
平成二十八年十月一日
〈神慮苑〉
介護福祉士 竹内 清忠
神慮苑勤務を命ずる
平成二十八年八月一日
主典 三浦 彩夏
寒川神社権禰宜に任ずる
平成二十八年九月一日
神社本庁
 - 〈神社〉 巫女 竹田 涼美
願いに依り職を免ずる
平成二十八年七月三十一日
- ◆退職
 - 巫女 塩田 萌佳
願いに依り職を免ずる
平成二十八年八月三十一日
〈寒川病院〉
看護師 小関 恵利子
規則に依り定年退職とする
平成二十八年七月三十一日
看護師 片野 陽介
願いに依り職を免ずる
平成二十八年八月三十一日
看護師 宇戸 由美子
規則に依り定年退職とする
平成二十八年九月三十日

第70回奉灯句会開催

9月4日、寒川俳壇主催による奉灯句会が開催され、最優秀句に一之宮賞が授与されました。

一之宮賞
朝顔や
もう豆腐屋の
起きてをり
寒川町 飛石 権花



千代倉医師よりご挨拶

宗教法人 寒川神社 寒川病院 リハビリテーション科 医師 千代倉 吉宏
 整形外科

病院 だより



本年3月から寒川病院でお世話になって
 ます整形外科医の千代倉吉宏と申します。
 東京都出身、茨城県の筑波大学を卒業
 後様々な力に押し流されるように生きてき
 ましたら、茨城県、埼玉県、東京都の病院
 を転々とするようになりました。
 この度は縁があつて今まであまり縁のな
 かつた神奈川県寒川町に勤めることとな
 りました。
 これまではスポーツ整形外科に興味を持
 ち日本整形外科学会、日本関節鏡・膝・
 スポーツ整形外科学会、日本体育協会、関
 東ラグビーフットボール協会等で仕事をさせ
 ていただけてきました。
 ご相談の相手は主にラグビー、テニス、ゴル
 フ等を中心に学生、社会人が主で仕事だか
 ら興味だか解らないような仕事を結構楽し
 みながらやってきました。
 また整形外科医としては膝関節を専門
 とし手術手技の向上や学会活動などに力
 を入れてきたつもりです。これも趣味のよう
 なものでした。
 しかし勤務医としての人生も終盤に差
 し掛かってきたのを感じ何時までも若い人
 と一緒に遊んでいる年でもなくなり、また自
 分の体にも衰えを感じるようになり医者とし
 しての原点に戻つてみるのも良いかと考え始
 めていました。そんな折に、寒川病院にお世
 話になることになりましたので、今後は少し
 でもこの町のお役に立てる整形外科医を目
 指して行きたいと考えています。
 ただ寒川神社の名前を聞いたことがある
 という程度の知識でやってきましたので
 具体的に何をしたら良いのか、何が出来る
 のかはさうとはわかりませんでした。
 以前から医学よりは文学、歴史の方に興
 味が強かったこともありましたので早速寒

川町について勉強させていただきました。
 寒川神社を中心に氏子さん力で発展し
 てきた町かと漠然と考えておりましたが、日
 本の歴史が凝縮した興味深い町であること
 を知りました。
 当然のことではありますが神社ができる
 よりも以前から人々の生活はあり、その歴
 史の痕跡が新石器時代から町内に存在し、
 古墳もあり、由緒ある神社、寺院もあり、
 鎌倉時代、戦国時代の武士の流れも散見
 され相模の国は中心を流れる相模川の恵
 みとともに発展してきた人々の息吹が感じ
 られ、しかもこれらが徒歩圏内に集約され
 いるロマン溢れる町であることを感じたく
 散策させていたいです。
 医学部を目指した時、世の中を何も知
 らない高校生が考えていたのは人の役に立
 ちたい、世の中の役に立ちたいという思いだ
 ちたと思います。
 若い時にスポーツで好成績を目指すのも
 悪くないとは思いますが、高齢になつた時
 にかかると人に迷惑をかけず健康に楽しい人
 生を送るかということは誰にでも大切なこ
 とではないでしょうか。
 病気で倒れてしまうのは仕方がない面も
 ありますが、病気で倒れないのにただ加齢のた
 めに体力を落として寝たきりの人生を送る
 のは避けたいと思います。
 寒川の町で整形外科医としてお力にな
 れるかもしれないのは、こんなことかなと考
 えています。何かお力にな
 れそうなことがあつたらおっ
 しゃつて下さい。
 さて此処で私に何ができ
 るかです。最先端の医療を
 目指して来たの良しな医療を
 が現状ではなかなか困難で
 す。またそのような医療を目
 指している医者が病院は周
 辺にも沢山あります。
 今後ともどうぞ宜しくお願い
 申し上げます。

千代倉医師診療日

	月	火	水	木	金	土
午前			○	○	○	
午後		○	○			

季節限定 ◎愛媛県産ゆず使用/柚子餡八福餅※十月一日(土曜)より毎週未限定販売。

秋の味覚

信州産の松茸
長崎県産の本まぐろ/使用

季節の料理

9月15日(木)より開始

お献立

- 箸附 山の木の子おろし相へ
- お造り 旬魚の盛合せ
- 焼き物 秋鮭と木の子
- 揚げ物 昆布舟焼き
- 小鍋 カボス
- 食事 本館の中トロとネギ鍋
- 水菓子 松茸、松茸、水菜、柳松茸

完全予約制となります。 ◎ご予約は2名様より承ります。 ◎お一人様 6,000円+税

レストラン あおば (ご予約、お問い合わせ) 電話 0467-73-0001

祝 人生儀礼

生涯には幾つかの大切な節目があり、その節目ごとに神社に参拝します。お子様の健やかな成長を祈る初宮詣や七五三詣は、お子様の大切な人生儀礼。寒川神社参集殿では、お祝会食(大人¥5,000～お子様¥2,500～)をご用意しております。(予約制)また、記念写真・貸衣裳・美容・着付け等、ご希望がございましたら、係員までご相談くださいませ。

ご予約・お問合せは

◎寒川神社参集殿

〒253-0106 高座郡寒川町宮山3835-1
☎0467-75-5555 FAX0467-75-5556

結婚式・披露宴・初宮詣・七五三詣・成人式・還暦式など各種お祝いのご会食
参拝会食・忘年会・新年会・歓送迎会
同窓会・創業記念など各種のご宴会

http://www.samsan.jp



祝祭日には国旗を掲げましょう

【表紙写真説明】
新嘗祭で奉奏される豊栄の舞

【題字】神社本庁 総長 田中恆清

「木札」

月次祭にご参列された方などに
お頒けする木札です



師走
「12月」

霜月
「11月」

神無月
「10月」

神社の素朴なぎもん!?

Q 神様って何人くらいいるの？

まずは、神様の数え方は知っていますか？「～人」とか「～名」ではなく、正解は「～柱」です。

さて、神様が何柱くらいいらっしゃるのかという質問ですが、正直なところ分かりません。寒川神社には寒川比古命様と寒川比女命様の二柱の神様がいらっしゃいますが、日本全国ではどうかというと…よく、八百万の神様といいますが、これは800万柱という実際の数を表しているのではありません。数えきれないほど多いという意味なのです。

古くより日本では全ての物に神様が宿ると考えられてきました。自分たちの周りには神様が大勢いらっしゃいます。いろいろな神様が見守ってくれていると思うと心強いですが、常に正直に過ごさなければいけないのです。

Q 初穂料って何？

神社ではお守りやお札の値段のことを「初穂料」といいます。

では「初穂」とは何かということ、その年に初めて収穫されたお米のことをいいます。古くから日本では、この初穂を豊作に対する感謝のしるしとして神様にお供えする風習があります。これは現在でも受け継がれており、秋の「新嘗祭」には初穂がお供えされます。

本来は「初穂」をお供えすることにより、神様に対する感謝の気持ちを表すのですが、実際にお米を作っていない人はお供えをすることができません。

そこで「初穂」の代わりにお金をお供えするようになったのです。そして現在では神社にお供えするお金のことを広く「初穂料」と呼ぶようになりました。

神社についてのなかなか聞けない素朴な疑問に、毎月少しずつお答えしていきます。できるだけ簡単な言葉でお答えしますので、ぜひお子さんと一緒にお読みください。

次号『相模507号』は
平成29年1月1日(日)に発行します

第506号 平成28年10月1日
発行所：寒川神社社務所
〒253-0195 神奈川県高座郡寒川町宮山3916
電話：0467(75)0004代
編集責任者：野村 尚広
印刷所：株式会社さんこうどう
<http://www.samukawajinjya.jp>

後編 編集

食前の「いただきます」と食後の「ごちそうさま」。

日本人であれば誰でも違和感なく使っている言葉です。でも、この言葉、日本独特の表現だということはご存じですか？

英語ではこれに相当する言葉がありません。「さあ、食べよう」とか「美味しい料理をありがとう」などと表現するみたいです。

日本では、食べ物には「神の恵み」であり、命あるものを食べさせて頂くという考えがあるため、作ってくれた人はもちろんのこと、神に対する感謝が込められるのです。

海外でも食べ物に感謝する気持ちは変わりませんが、実際にこういう表現が存在していることが素晴らしい文化だと思います。

食欲の秋…心を込めて「いただきます」。(再)